

京都産業大学同窓会 宮崎県支部便り

2016(平成28)年
第9号

発行日 2016年1月1日
発行 京都産業大学
同窓会宮崎県支部
E-mail ksu383ki@yahoo.co.jp



ごあいさつ

宮崎県支部 支部長 佐藤 知徳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

宮崎県支部の皆様におかれましては、日頃から同総会活動への温かいご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

21年ごとに行われる上賀茂神社の式年遷宮の年でもあった昨年、京都産業大学は創立50周年を迎えました。

本学の新しい歴史を造っていくためにも、卒業生として、建学以来大切にしてきた「チャレンジ精神」や「神山スピリッツ」を礎に、これからのグローバルな時代に果敢に立ち向かっていきたいものです。

昨年初めて宮崎市内で春期キャンプを行い、昨年の宮崎県支部総会後の二次会にかけつけてくれたオリックス・バファローズ所属の、本学出身、平野佳寿(よしひさ)投手は、昨年はケガもあり、思うような結果を残すことはできませんでした。しかし、心機一転、今年は必ずや、最速156 km/hのストレートを武器に、一昨年に負けない結果を残してくれるでしょう。そのためにも、オリックス・バファローズのキャンプ地、SOKKEN スタジアム(宮崎市清武総合

運動公園内)に出かけ、平野投手を応援しましょう。

また、昨年イギリスで行われたワールドカップラグビー。本番を前に通算約80日間に及ぶラグビー日本代表の宮崎合宿を応援に行かれた方もおられるかと思います。この日本代表メンバーには、4人の京都産業大学OBが入り、日本中を沸かせてくれたことを大変うれしく思っています。

なお、本年2月6日(土)開催の宮崎県支部総会では、高校時代を本県で過ごされた本学法学部の須賀博志教授(延岡高校卒)による講演も予定しております。ぜひ多くの皆様に参加いただきますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



ブルペンの平野投手

ラグビー日本代表宮崎合宿

本学OBが南アフリカ撃破の原動力に

昨夏、ラグビー日本代表の宮崎合宿を応援に行ってきました。

日本代表メンバー入りした、4人の京都産業大学OBですが、伊藤鐘史選手(神戸製鋼コベルコスティーラーズ)、田中史朗選手(パナソニックワイルドナイツ、ハイランダーズ)、山下裕史選手(神戸製鋼コベルコスティーラーズ)はW杯に出



左から山下、田中、伊藤選手

場。特に、田中選手は、予選プール3試合とも出場し、大柄な選手に吹っ飛ばされる場面もありましたが、中心選手として大いに楽しませてくれました。

W杯直前にけがで離脱した長江有祐選手(豊田自動織機シャトルズ)の活躍を見ることができなかったのは残念でしたが。

宮崎合宿で激励に行った際、ウエイトトレーニングを終え、一番先に出てきた田中選手に声をかけると、山下選手と伊藤選手を呼びに行ってくれました。

4年前のW杯直後に宮崎での試合後、田中選手に会った際、「自分たちのラグビーのレベルを思い知らされた。期待してくれていたファンに申し訳ない。」とくやしそうに話をしてくれましたが、今回のW杯後の「日本ラグビーを盛り上げることを償いとしてやってきた。」というコメントを聞

き、本当によかったと思っています。

イケメンで、応対もとても紳士的な伊藤選手は、31才の時に初めて代表入り。代表入りは半ばあきらめかけていたとか。遅咲きのロックは神戸出身で、中学生の時に阪神淡路大震災を経験されたとのこと。

人なつっこい笑顔が印象的なプロップ山下選手の体重は、代表で最も重いそうです。胸板の厚みは近くで見るとど迫力でした。これぞフォワードという感じでしょうか。趣味は「メダカの飼育」らしいですが、ちょっと似合わないですね。

民放が2つしかない宮崎では、日本テレビ系が見れないので、ケーブルテレビが衛星放送契約をしておらず、日本戦の試合を

フルタイムでは見れなかったという方もおられるかと思いますが、京都産業大学出身選手の活躍もあり、非常に思い出深いワールドカップとなりました。本学出身のこの4選手には、今後もぜひ活躍いただきたいし、宮崎でもお会いしたいものです。



密集からボールを出す田中選手

宮崎の名所紹介

大御（おおみ）神社って知ってます？

日南市にある鵜戸神宮には行ったことがあっても、日向市にある大御神社には行ったことがない、あるいは大御神社を知らないという方が結構おられるのではないのでしょうか。



さざれ石

この大御神社、天岩戸の神隠れで有名な天照皇大御神（あまてらすおおみかみ）を御祭神とし、日向のお伊勢さまとして知られています。境内には、

国歌「君が代」に出てくる小さな石が集まって塊になった日本最大級の「さざれ石」群があります。

去年は、宮崎県支部総会翌日に大城光正現学長をお連れしましたし、これまでに藤岡前学長や坂井元学長もお連れし、喜んでいただきました。

ワールドカップ開幕を1か月後に控えた8月中旬の夜、宮崎合宿中のラグビー日本代表の選手やスタッフ約60人がこの大御神社を訪れました。選手たちは本殿でおはらいを受けたあと、「日本最大級」のさざれ石の前に並び、「君が代」を歌い、勝利を誓いました。

神社の宮司さんは、小さな石が粘土や砂と混じり、長い年月をかけて巨大な石になることを説明し、「一人ひとりの心がひとつになれば、君が代に出てくる巖のように頑強になる。」と励ましたとのこと。

あの強豪南アフリカを倒して世界を驚か

せた勝利の陰に、宮崎のパワースポットの存在があったことはうれしい限りです。

当日は、もちろん我が京都産業大学出身の3選手も参加していますが、ゴールキック前のルーティン（キック前の動き等を一定のパターンにすること）で有名になった五郎丸歩選手も、この必勝祈願当日、自身のTwitterに「大御神社に必修祈願。日本最大のさざれ石を見ました。改めて日本の素晴らしさ、国歌の素晴らしさを感じれる一時でした。」とコメントしています。

大御神社の社名は、天照皇大御神の大御をいただいて社名とした、と伝えられていますが、本殿に残る天保・安政年間より大正5年までの祈願木札には天照皇大神宮と記されているそうです。



参拝する日本代表メンバー

鵜戸神宮同様、海に面しているという共通点はありますが、参拝でアップダウンに苦労する鵜戸神宮と比較すると、駐車場から神社が近い距離に有り、境内が平坦で開放感があるので、その雰囲気はかなり異なります。

JR日向市駅から車で約10分、宮崎市内から行かれる場合は、国道10号のナフコ日向店のある交差点を右折して伊勢ヶ浜方面に向かい、数分で着きます。時間があれば、近くの人気スポットである馬ヶ背や特に女性の人気が高いクルスの海などに足を伸ばしてみるのもよいでしょう。

ぜひ一度大御神社に参拝されませんか。